# 調布市地域公共交通計画に係る実施計画について

資料２

令和８年３月に策定した調布市地域公共交通計画の施策について、実施に向けた検討を進めます。

| 目標・施策 | 施策No. | 施策名 | スケジュール R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | 実施主体 市 | 事業者 | 市民 | 関係者 | 計画の内容（説明） | 進捗状況および今後について |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 目標１：骨格となるバス路線網や運行サービスの維持・改善 | 1-1 | 幹線交通，準幹線交通の維持 | 実施（継続），取組検討・展開 | | | | | ■ | ■ | | | 市内の骨格となるバス路線（幹線・準幹線交通）において、効率的かつ利便性を確保したネットワークの視点を持ちながら路線・サービスの維持を図るとともに、関係者で利用促進等の支援を行う。 | ・交通計画部会にて幹線・準幹線交通の路線に関する事業者の今後の方向性、サービス動向、利用促進や支援等の方法を確認・協議<br>・近隣市（三鷹市、府中市、狛江市など）との協議 |
| | 1-2 | 乗務員確保に向けた取組 | 実施（継続），取組検討・展開 | | | | | ■ | ■ | | | 交通事業者等の人材確保に向け、幅広い対象者が働きやすい就業環境・勤務形態の促進のため、就労環境支援などを含む方策を検討する。 | |
| | 1-3 | 利用促進に向けた取組(全体の交通) | 検討 | 実施 | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | バスマップの作成や分かりやすい情報提供を実施するとともに、居住者、通学者、来街者等に対するモビリティ・マネジメントの検討・実施を図る。 | |
| | 1-4 | 中広域のネットワークの検討体制づくり | 検討体制の構築，協議 | | | | | ■ | ■ | | ■ | 市内外をつなぐ広域路線や行政界付近の交通手段確保に向け、近隣市との協議体制を構築し、相互の計画の整合性やネットワーク構築に向けた協議・調整を行う。 | |
| 目標２：幹線・準幹線交通を補完する地域内交通の維持・改善 | 2-1 | 地域内交通の導入，維持 | 検討 | 実施 | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | 地域関係者や交通事業者との協業により、地域の特性や需要（駅や施設への利便性、崖線等）に応じた補完的な地域内交通の導入・維持、改善を図る。 | ・各地域の実情に合わせた地域内交通のあり方を地域とともに協働しながら検討する<br>他自治体の導入事例を参考に、本市における適用可能性、適用路線や区間を整理・検討する<br>・自動運転や EV 車両等の新技術に関する動向等を把握する |
| | 2-2 | 地域との協働による継続的な取組 | 実施（継続），取組検討・展開 | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | 地域関係者との協働による検討体制の構築、地域主体の検討に対する支援を実施する。また、導入後のモニタリング、利用促進の仕組みを構築する。 | |
| | 2-3 | 利用促進に向けた取組（地域内交通） | 検討 | 実施 | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | 地域内交通への愛着と利用の定着を目指し、分かりやすい案内チラシやマップの作成・活用、地域イベント等と連携した利用促進活動、モビリティ・マネジメントを実施する。 | |
| | 2-4 | 新技術（自動運転等）の検討，導入 | 検討・実証・評価 | 実施 | | | | ■ | ■ | | ■ | 地域内での移動手段の確保・向上に新技術を活用するため、自動運転バス等の導入実験を行うなど、研究・検討を進めます。 | |
| 目標３：市民の困りごとに寄り添った公共交通施策の形成と多様な主体との連携 | 3-1 | 公共交通のバリアフリー推進（車両や情報案内等を含む） | 検討 | 実施 | | | | ■ | ■ | | | ノンステップバス等の導入による車両のバリアフリー化を継続するほか、車いすやベビーカー利用者等が安心して移動できるルート案内など、情報のバリアフリー推進を検討する。 | ・交通事業者が実施する車両のバリアフリー化の状況把握し、各種支援を検討する<br>・車いす、ベビーカー利用者等が安全に移動できる仕組みづくりの啓発を推進する<br>・市福祉部門等と連携し、協力体制の強化を図る |
| | 3-2 | 地域内交通やタクシーの利用促進，活用の検討 | 検討 | 実施 | | | | ■ | ■ | | ■ | 移動制約条件や地域特性を考慮し、ユニバーサルデザインタクシーや陣痛タクシーなどの個別輸送（タクシー等）の役割・特徴を生かし、地域や状況に応じた対応策を検討する。 | |
| | 3-3 | 多様な世代の自立した移動実現を目指した関係部署との連携 | 検討，協議 | | | | | ■ | ■ | | ■ | 移動制約者のニーズを継続的に把握し、福祉部署等の庁内関係部署や総合福祉センター等の関係機関と連携した移動支援策の検討、福祉交通等を含めた協力体制の強化を図る。 | |
| 目標４：まちづくりと連携した交通施策（モビリティ・デザイン）の推進 | 4-1 | 交通結節点の利用のしやすさ確保 | 実施 | | | | | ■ | ■ | | | 調布駅前広場等の主要な交通結節点において、バスのり場案内やバス停のデジタルサイネージ化等の運用・維持を行い、公共交通の利便性向上や多言語・周辺施設等の情報発信を推進する。 | ・行政界付近のサイクル＆バスライドの設置可能性を検討する（小さな拠点、新たな拠点）<br>・民間バス路線や GTFS データの整備・更新状況を把握しつつ、地域内交通の GTFS データの構築、オープンデータ化を検討する<br>・開発事業等に応じた交通施策実施のための情報提供体制等を検討する |
| | 4-2 | モビリティ・ハブの整備 | 検討 | 実施 | | | | ■ | ■ | | | モビリティ・ハブの整備を促進し、幹線交通、準幹線交通、地域内交通の乗り継ぎのしやすさや市民の利便性向上を図る。 | |
| | 4-3 | デジタル技術の活用 | 実施（継続），取組検討・展開 | | | | | ■ | ■ | | | 公共交通データ等のオープン化・標準データ形式化（GTFS 化）や、運賃支払いにおける電子決済化等を推進し、情報検索の円滑化や移動利便性向上を図る。 | |
| | 4-4 | まちづくりとの連携 | 実施（継続），取組検討・展開 | | | | | ■ | ■ | | ■ | 都市計画事業や開発事業等の機会を捉え、適切な公共交通サービスを検討するため、市や開発関係者と交通事業者との情報連携、路線導入や見直し等の協議促進を図る。 | |